

大阪北部地震、西日本の集中豪雨  
で被災されたみなさん  
謹んでお見舞いを申し上げます。

告知板

大阪労連第53回定期大会  
9月1日(土) 12:30~ 都島区民センター

# たたかろう労働組合を大きく

## 新しい仲間を迎え 「福保労フェスタ」開催

福保労大阪地本

6月23日、新入組合員を歓迎する福保労フェスタを大阪市内で開催。企画は青年部が中心となり各支部の実行委員と一緒にすすめました。当日は、18日の大阪北部震災や環状線が止まり参加することができなかった組合員もいましたが、新入組合員を含め総勢144人の参加がありました。「分会ビンゴゲーム」や「新人さん頑張って！借り物競争」や各支部の模擬店など、支部や職場を超えて楽しく交流できました。

組織拡大月間の3月～6月には、それぞれの分会・班の奮闘があり、多くの組合員の加入がありました。しかし、深刻な人手不足など現場の労働実態の深刻さなどから、例年200名近くの組合員が職場を去る状況があります。現勢回復にむけて引き続き、各職場で労働組合が見える活動をすすめるながら、「(仮) 組合を知る会」などを開催し、組合加入の呼びかけをしていきます。



記念講演では、北海道労連の黒澤幸一議長が北海道で取り組まれた「無期転換プロジェクト」の経験などを話しました。はじめに、①要求は前進したか②職場の団結は強まったか③新たな参加などは増えたか④労連の信頼は高まったか⑤組織は拡大されたかという五つの指標を持って北海道労連の組織拡大強化をすすめていると強調しました。そして、組合員の実態と要求を聞いていく中から「無期プロ」が始まり、「道労連と単産、地域が協力し、職場はもちろん、マスコミを使って

6月16日、国会会館で2018年度大阪労連組織集いが開催され、春の拡大月間の教訓を持ち寄り、討論を深めました。参加者は、たたかう労働組合を大きく、強くしていくために引き続き組織強化・拡大の取り組みを強めていく決意を固めました。

組合の見える化をすすめる、すなわち、労働組合が市民にも組合員にも見えることを大切しながら市民講座を開催していく中で、組合員加入がすすみました」と経験を語り

### ターゲットを決めて

続いて、介護総がかりでは、地域でターゲット

を絞って、署名やアンケート訪問活動などで信頼関係を作り、老健施設等で組合の結成がされ



▲圧倒的な非正規労働者の組織化が重要と語る黒澤道労連議長

組合加入が続いている、福保労は自分の言葉で労働組合を語る力が組合加入へつながっている」など春の拡大月間の経験が語られました。

### 要求実現のために

組合員のみならず、国や自治体の悪政が地域経済を破壊し、私達の労働条件改善を阻んでいきます。要求実現のためにも労働組合を大きくしていくことが求められています。9月の大阪労連定期大会を前に、職場で対話を広げ組合員拡大をすすめていきましょう。

# キーワードは労働組合の見える化！

## 大阪労連組織集い

## 核兵器のない平和で 公正な社会のために



▲大阪での国民平和行進には、多くの仲間が参加した。(写真は7/1 藤井寺)

広島と長崎に原爆が落とされてから長い年月を経て、世界は核兵器廃絶に向けて画期的な一歩を踏み出しました。被爆者をはじめ核兵器をなくしてほしいと願う私達の粘

り強い運動が国際社会を動かし、核兵器禁止条約が昨年、国連で採択されました。条約には58カ国が署名し、8カ国が批准しています。

今こそ非核、平和で希望ある日本の実現に向けて声を上げていきましょう。「ヒバクシャ国際署名」を職場の仲間から集めましょう。そして、8月に開催される2018年原水爆禁止世界大会へ職場から、地域から大勢の仲間と共に参加して行きましょう。

## 天満でとどけ

「働き方改革関連法が、自民、公明、維新等の賛成により可決、成立しました。過労死ラインを超える水準での罰則付き残業上限規制や、労働時間の保護を外し「過労死促進」「残業代ゼロ」である高度プロフェッショナル制(高プロ制)が合法化されました。ついに現行憲法により確立された労働者保護規制に大きな穴が開けられました▼この国会では、さまざまな規制緩和が可能となる生産性向上特別措置法も成立しています。この20年間の構造改革と規制緩和が、大企業のリストラ・人減らしをすすめる、国民の暮らしと安全を破壊してきました▼日本国憲法には、主権者である国民が平和のうちに生存する権利が記されています。この夏、憲法を学び、暮らしにいかしていきましょう。(K)

## 国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2